

発行：ボーイスカウト石川県連盟  
 石川県金沢市平和町 1-3-1  
 石川県平和町庁舎内  
 発行責任者：野田 政弘  
 編集責任者：宮東 剛文  
 令和 6年 1月20日発行

## 年頭のあいさつ



新年明けましておめでとうございます！

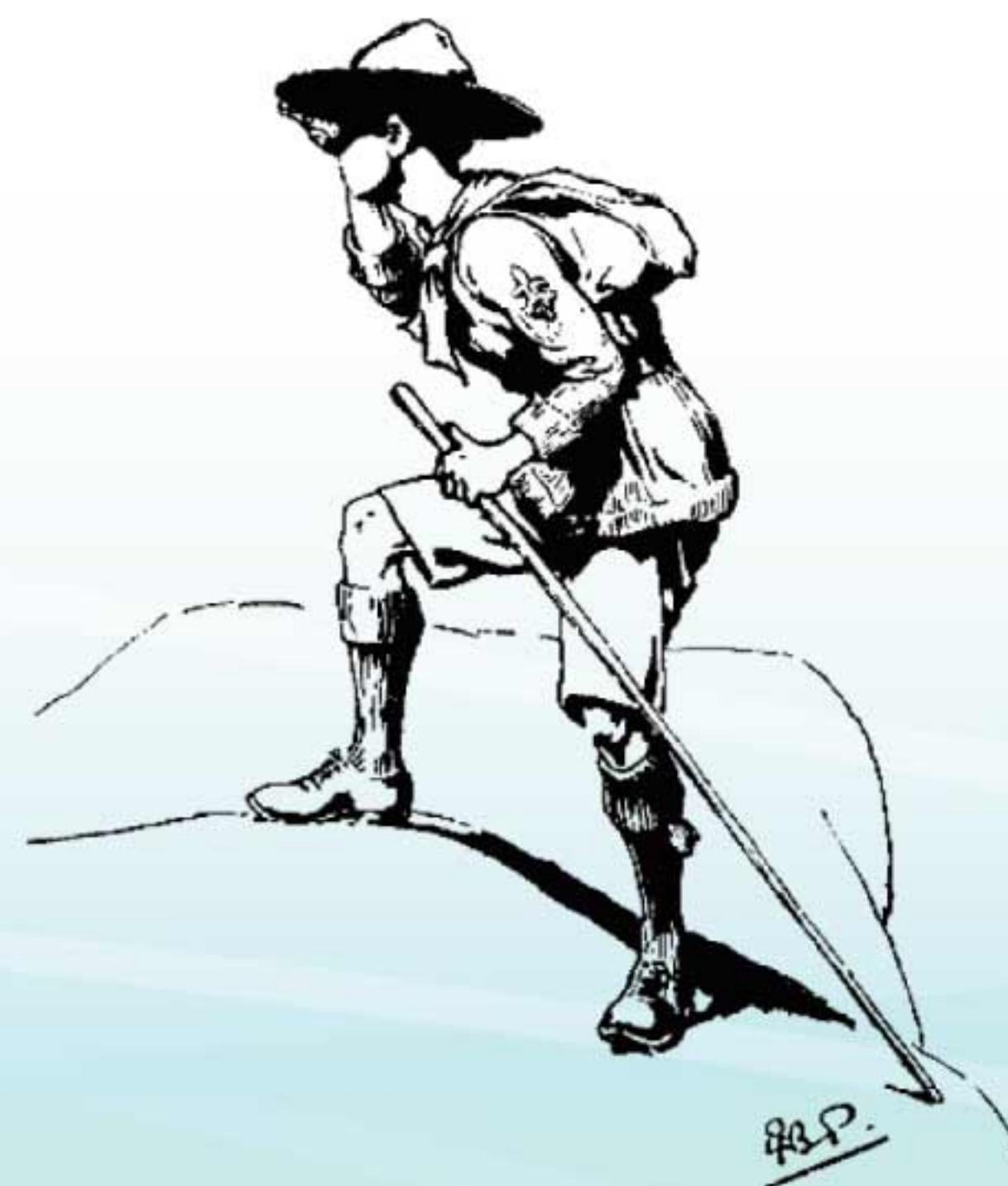
新しい年、皆様方が家族揃って新年のお祝いを寿いでいる最中、突然の揺れに寿ぎの心が一転、恐怖のどん底に突き落とされ、生きた心地がしなかったのではないのでしょうか。そうです忘れもしない 16 時 10 分頃の出来事です。珠洲市を震源地に、志賀町で震度 7 の烈震、珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市が震度 6 強の激震、県下一円が震度 6 弱、震度 5 強、震度 5 弱の強震に見舞われました。そして初めて大津波警報が出され、生まれて初めて小生も避難を経験。テレビから映し出される被災地の姿に多くの県民が愕然としたのではないのでしょうか。多くの家屋が地震、津波で倒壊、あらゆる幹線道路が大きな亀裂、陥没と、通行が不能に。また、輪島市では 200 世帯にわたり、火

災で焼失。そして、山崩れなど複合的な災害に呆然とする思いです。今回の地震の最大加速度は東日本大震災に匹敵する 2826 ガルを観測、長周期地震動の階級も能登は 4、加賀地方が階級 3 と県内各地に甚大な被害をもたらしました。早速に加盟員の安否確認、また、能登の団の関係者に連絡を入れましたが、連絡不能。気をもむ中、漸く連絡が取れ、人的被害はないとの事でした。しかし、加盟員の多くが家屋の倒壊に遭っています。

当連盟と致しましては、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すると共に、被災された方々の安穩と一日も早い復興をお祈りいたします。

また、今後、復興の一助になればと、県連盟挙げてボランティア派遣を継続して被災地に送りますので、どうか加盟員皆様方のご支援、ご協力をお願い致します。

ボーイスカウト石川県連盟  
 理事長 野田 政弘





## 第8回石川キャンポリー (8IKC) 参加申込団合同野営大会 in 片野の森

令和5年8月4日(金)から8月7日(月)まで、加賀市片野町「片野の森キャンプ場」を会場に3泊4日の日程で8IKC参加申込団合同野営大会が開催されました。参加団は、金沢第2団、金沢第11団、金沢第17団、金沢第22団、津幡第1団、野々市第1団、加賀第3団、小松第3団です。

本大会は、自然の中でのゆとりあるキャンプ生活を満喫し、自然環境を配慮したキャンプ生活の実践とSDGsの実践を目標に行われました。

キャンプの内容は、必須プログラムの「信仰奨励」、「奉仕」、「交歓行事」、「友情」および「挑戦プログラム」です。参加者は挑戦プログラムとして「火起こし競争」、「班旗立て競争」や「ローマ戦車」などに挑みました。日頃から鍛えた技能を駆使し一生懸命に班員が力を合わせて挑戦している姿が印象的でした。

また、8月5日(土)の夕方からは、全体行事プログラムとして「サマーフェスタ in KATANO」で各団が名物屋台を提供し、工夫を凝らした名物料理が堪能できました。ステージでは、参加団のパフォーマンス披露などで大いに盛り上がりました。

合わせて、ビーバーカブディが8月5日(土)の日中に開催され、会場内に設けられたポイントを回り課題に挑戦しました。

今年の夏は猛暑といわれるほど気温が高く過酷な状況でしたが、片野の森の自然の中で、参加者は暑さ対策を工夫し、お互いの友情を深め、大いに楽しんだ野営大会となりました。



### 津幡第1団 ハヤブサ班 班長 坂本明紀

僕はこのキャンプですっと思っていたことがあります。それは、とても暑いなと思いました。

一日目は、車で数時間の片野の森でキャンプすることになりました。まずついてから、A テンをたてました。午後で一番うれしかったのは、シャワーに入れたことです。夜は、どこかの団と交流して寝ました。あまり寝れませんでした。

二日目は、ねむたい朝からはじまりました。朝ご飯を食べたあと、2人が遅れてキャンプに参加して、少しらくになりました。九時くらいから活動をしました。一つは、火をつけるやつです。もう一つは、ローマ戦車をしました。ローマ戦車は難しかったです。午後は祭りの準備をしました。うちの団は、ポップコーン・ミニたい焼・焼うどんをだしました。ぶじ全部完売しました。夜はサマーフェスタで、津幡町歌体操をしました。

三日目は、二日目の午前といっしょで活動をしました。一つは手旗と、班旗立てをしました。三日目は、あまりねれませんでした。

四日目は、すごくつかれました。

最後に、暑かったけど楽しかったです。



## 津幡第1団 タカ班 次長 椎森 理

一日目。暑かった。現地につき、テントをたてようとした。ペグがささらない。どうやらコンクリートが砂の下にあるらしい。思うようにテントが張れずイライラした。体力もしだいになくなっていく。結局フライを張るのをやめた。その夜はとてもむし暑かった。テントの中で友達と UNO をした。一人が先に抜け二人で一進一退の変わらない戦いをしているうちに夜遅くなり、あわてて就寝した。

とんで三日目。昨日の火起こし、ローマ戦車に続き、手旗、班旗立てのプログラムに参加した。手旗はうまくいったが、班旗立てに時間がかかりすぎた。タイムオーバーしてしまったが、4m後半の記録だった。良かった。その夜だった。事件が起きたのは。とうとう雨が降り出してしまった。あわててフライを張った。あと一日で帰るというのにめっちゃくちゃあわてた。荷物ずぶぬれの前回みたにならなくてよかった。

四日目。片付けて帰った。このキャンプの中で家のありがたみを改めて知った。全体を通してとても楽しかった。

の夜に雨が降ってきて少し残念でした。3 日目は暑さになれて1 番動くことができました。3 日目の閉会式のあとに帰ることになり、1 日目は暑さで帰りたいたいとなっていたけど、3 日目になると帰りたくないという気持ちやもう一泊したいなと思っていました。

今回のキャンプは今までのキャンプで一番楽しくて思い出に残りました。またこのようなキャンプをしたいと思いました。またこんなキャンプがあったときは暑さに負けずに、動いていたらいいなと思いました。



## 津幡第一団 タカ班 嘉地紅巴

キャンプの1 日目は車で加賀市のキャンプ場まで行き、キャンプ場ではテントをたてたりご飯を作ったりしました。午前中にはテントをたててお昼におにぎりを食べて、午後からテントをたてるのがと中だったからテントをたてました。とても暑かったけどがんばって活動することができました。

2 日目や3 日目はローマ戦車や火起こし、手旗などをしたり、2 日目の夕方ごろにはカブ隊がきていっしょに津幡町歌体操をおどりました。そしてポップコーン、ミニたいやき、やきうどんを津幡第一団はだしました。思った以上にポップコーンが人気ですぐになくなりました。ポップコーンがなくなったあともポップコーンありますかと聞きにくる人がいて人気だなと思いました。2 日目は暑さに少しなれてきたけどまだ暑かったです。

3 日目はオリエンテーリングをしたり閉会式をしたりしました。今回のキャンプでは雨が降らずに終わってほしいと思っていたけど3 日目

## スカウトボイス投稿大募集

スカウトボイスは、石川県連盟の動きと所属のスカウトの声を幅広くお届けする情報誌です。皆様からの、感動した、楽しかった、苦しかった、友情輪が広がった、人々の役に立てた、等々のエピソードに写真を添えてお寄せください。県内のスカウトや指導者、団委員、保護者など、どなたでも投稿できます。手書きの原稿も受け付けています。スキャナー取り込みデータまたは原稿をデジカメやスマホで写してボーイスカウト石川県連盟事務局までお送りください。皆様からの積極的な投稿を心からお待ちしています。





## 令和5年度 石川県連盟 スカウトフォーラム

令和5年10月14日(土)～15日(日)、金沢東別院内金沢教務所にて、令和5年度 石川県連盟スカウトフォーラムが開催されました。本フォーラムには、県内のベンチャースカウト12名(金沢2団9名、金沢6団1名、加賀3団1名、野々市1団1名)が参加し、「時代とともに変化する課題への新しい100年に向けてスカウトは何をすべきか」をテーマに活発な意見交換が行われました。基調講演として加賀3団の木戸浦信隆氏が担当し、ご自身のスカウト経験をもとに熱い思いが語られました。



## ビーバー・カブの集い

～ビーバー・カブの集いを終えて～

11月3日、奥卯辰山健民公園にて、令和5年度ボーイスカウト石川県連盟「ビーバー・カブの集い」が199名の参加者により行われました。当日は天候にも恵まれ、秋とは思えない暖かい日和となり、参加スカウトは「自分出来る防災」をテーマに公園内の6つのポイントを巡りました。

歩くスカウトに声を掛けると、「楽しかった、面白かった」と笑顔が返ってきて、とてもうれしく思いました。スカウト個人が何かの折に防災について考えるきっかけになってくれると、うれしく思います。

奉仕指導者、各隊指導者の皆様、スカウトを送りだしていただいた保護者の皆様のお陰で無事に終える事ができました。今後も引き続き、皆様方のご支援、ご協力をお願いします。ありがとうございました。

